

日本データベース学会・株式会社日立製作所共催

日立 uCSDP アカデミック支援プログラム

2015 年 4 月 1 日

株式会社日立製作所（執行役社長 東原敏昭、以下、日立）と、日本データベース学会（会長 筑波大学大学院システム情報工学研究科 北川博之教授）は、大学などの教育機関におけるデータベース処理技術およびストリームデータ処理技術の研究・教育活動の支援を目的として、日立 CEP 基盤「uCosminexus Stream Data Platform」（以下、uCSDP）を利用した「日立 uCSDP アカデミック支援プログラム」を、ご好評につき 2015 年度も実施いたします。

CEP : Complex Event Processing

1. プログラムの構成

次のメニューをご利用いただけます。

・ CEP 基盤「uCSDP」貸し出しによるストリームデータ処理技術の研究支援

大学などの教育機関における教育または非営利目的の研究のために、「uCSDP」および関連製品を利用できます。なお、支援プログラムの利用終了後、利用成果を報告して頂きます。

2. プログラムの内容

2.1 「uCSDP」ご提供によるストリームデータ処理技術の研究支援

支援対象者

文部科学省認定の大学院大学、大学、短期大学、高等専門学校に所属している日本データベース学会員の方で、学会へ申請書類を提出し、選考された方。お申し込み時点で学会員でない方は uCSDP をお貸しするまでに下記 URL から学会へご入会ください。研究科、学部、学科、研究室などを単位としてお申し込みください。なお、選考は日本データベース学会と日立が共同で行います。

日本データベース学会ホームページ: <http://www.dbsj.org/>

ご契約者

上記研究科、学部、学科、研究室などの代表教員。

ご利用者

ご契約者が所属する研究科、学部、学科、研究室に所属する教員および学生。

ご利用期間

ご契約は年度単位とします。簡単な手続きで契約の継続が可能です。

お貸しするソフトウェア

本プログラムの実施にあたり uCSDP を無償でご利用いただけます。お貸しするソフトウェアは以下の通りです。下記ソフトウェア以外の環境(ハードウェア、OS、アプリケーション等)はご契約者が用意するものとします。

- ・ uCSDP および uCSDP 関連製品
- ・ 上記製品のマニュアル（または取扱説明書）一式

提供可能なソフトウェアは以下の通りです。

- ・ uCosminexus Stream Data Platform ※2014 年度からの継続のみご利用いただけます
- ・ uCosminexus Stream Data Platform - Application Framework

対象 OS は申請書類に記載してください。ご契約時点の最新版を提供いたします。

なお、各製品の対応 OS、機能など詳細につきましては、
下記 Web サイトからご確認ください。

<http://www.hitachi.co.jp/cosminexus/sdp/>

[uCSDP の概要]

ストリームデータ処理技術とは、時々刻々と無限に到来する時刻順データ（ストリームデータ）に対して、データが発生する度に、逐次、集積・分析を行うリアルタイム処理技術です。この技術は、2002 年頃から Stanford 大学等の米国の有力大学の DB グループを中心に研究が進められ、日立も同研究に参画してきました。

近年、電子マネーや IC カード、RFID を利用した物流管理などによってデータ量が爆発的に増大しており、大量データをリアルタイムに処理するストリームデータ処理技術は、様々な分野での適用が有効な技術として期待されています。

日立では、このストリームデータ処理を実現する基盤製品として「uCosminexus Stream Data Platform」を開発し、2008 年より提供を開始しております。また、上記の基盤製品に加えてシステム導入の容易性を支援する製品として「uCosminexus Stream Data Platform - Application Framework」（以下、uCSDP-AF）の提供を 2010 年より開始しました。uCSDP-AF はログ情報や通信データなどの時系列データを定義のみで分析可能とするアダプターを提供します。

お貸しするソフトウェアのご利用目的

本プログラムでお貸しするソフトウェアの利用目的は非営利目的の教育または研究に限ります。

[認められる利用例]

- ・ ストリームデータ処理技術を習得するための授業の教材として uCSDP を使用する。
- ・ ストリームデータ処理技術を習得するための試験において uCSDP を使用しての運用方法などを課題にする。
- ・ ストリームデータ処理技術関連の研究において uCSDP を使用し、ストリームデータ処理技術の理論などを研究する。

[認められない利用例]

- ・ 申請書に記載されている利用者以外に uCSDP を使用させる。
- ・ uCSDP を営利目的に使用する。
- ・ uCSDP を研究対象以外の目的で教育機関内でストリームデータ処理技術を利用したシステム構築などに使用する。

お貸しするソフトウェアの使用、管理

- ・ 申請書に記載された利用目的でのみ使用することができます。
- ・ 申請書に記載された利用者のみ使用することができます。また、ご契約者は申請書に記載された利用者以外の第三者が使用できないように管理しなければなりません。
- ・ ご利用期間終了後、ソフトウェアをインストール済みハードウェアから速やかにアンインストールし、お貸した媒体を返却していただきます。ただし、ご契約を継続する場合は引き続き使用することができます。

研究成果および実施内容の報告

ご利用期間終了後に本プログラムでの研究成果を極力日本データベース学会で発表していただきます。その際に、本プログラムを実施していることを記載してください。

お申し込み方法

「日立 uCSDP アカデミック支援プログラムに関する同意書」の内容をご確認の上、「日立 uCSDP アカデミック支援プログラム申請書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記の宛先まで e-mail でお申し込みください(申請書を e-mail に添付してください)。選考の結果、合格された際には「日立 uCSDP アカデミック支援プログラムに関する同意書」に記名捺印し、別途指定の住所まで送付していただきます。

宛先: ucsdp-support@itg.hitachi.co.jp

2015年度春期募集期間:2015/4/1～2015/5/31

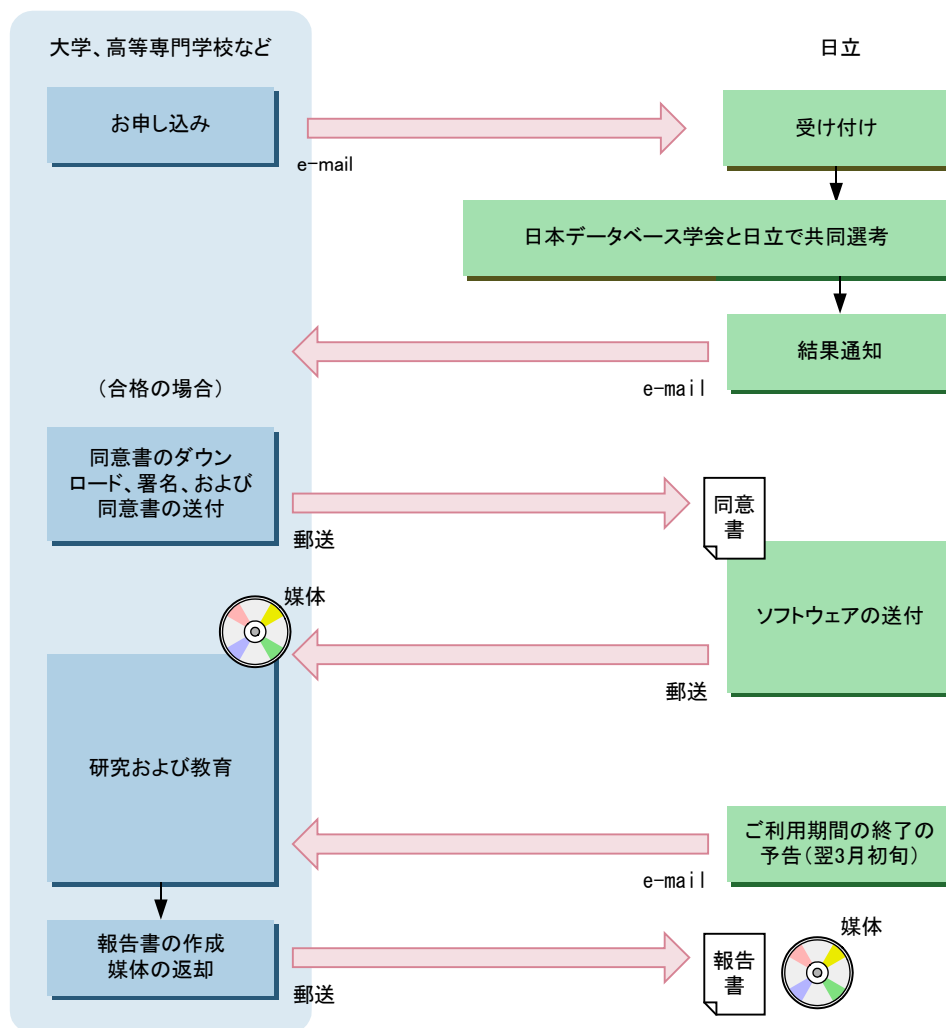
ご利用期間内にご利用者の追加を希望される場合は「日立 uCSDP アカデミック支援プログラム利用者追加申請書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、上記アドレスまで e-mail でお申し込みください。

同意書および申請書(ここからダウンロードしてください)

- : [「日立uCSDPアカデミック支援プログラムに関する同意書」](#)
- : [「日立uCSDPアカデミック支援プログラム申請書」](#)
- : [「日立uCSDPアカデミック支援プログラム利用者追加申請書」](#)

いずれも、メールタイトルに「uCSDP アカデミック」と添えてください。

お申し込みからプログラム終了までの流れ



2015 年度日程

春期募集期間	2015/4/1～2015/5/31
審査期間	2015/6/1～2015/6/30
審査結果の送付	2015/7 月 初旬から(e-mail でお知らせします)
媒体送付	2015/7 月 中旬から順次開始

本件に関するお問い合わせ先

e-mail: ucsdpsupport@itg.hitachi.co.jp (問い合わせ窓口)
メールタイトルに「uCSDPアカデミック」と添えてください。

以上